

# 春日井市交響樂團

第4回定期演奏会

KASUGAI CITY  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA



1995年7月16日(日)

春日井市民会館

主催／春日井市交響樂團 共催／春日井市  
後援／愛知県教育委員会・春日井市教育委員会・中日新聞本社

## ごあいさつ



春日井市交響楽団

会長 山田 和夫

本日は、春日井市交響楽団第4回定期演奏会においでいただきありがとうございます。カポの愛称で知られますこの交響楽団も、今年で創立5周年を迎えることができました。これも、市民のみなさまのご支援・ご協力のおかげと感謝いたしております。

また、春日井市の鶴飼一郎市長を始め、市のみなさま方のご指導のおかげでもあります。特に、昨年秋の「ハーモニー春日井」の開設や、恒例になりました「春日井市民第九演奏会」への参加など、私たちの交響楽団が成長し活躍する環境が大きく整ってまいりました。これも、カポに対する春日井のみなさまの期待の大きさを現わすものと受け止めて、さらに精進してまいりたいと存じます。

今回は、指揮者に竹本泰蔵先生、ピアノに原佳大先生のご参加を得て、さらに充実した演奏会を催すことができました。これは、いよいよ発展期に向かうカポにとって、さらに大きな自信になるものと存じます。両先生に感謝申し上げます。今回のプログラムは、みなさまが良くご存知の名曲ばかりです。むろん、ワーグナーとグリーグとブラームスは私も大好きですので、わくわくしながら開演を待っております。

では、ご一緒にカポの名演を十二分に楽しみたいと存じます。



春日井市交響楽団名誉会長

春日井市長 鶴飼 一郎

春日井市交響楽団第4回定期演奏会を、市民の皆様とともに鑑賞できますことを心から喜びたいと思います。

平成2年に産声を上げ、今ではカポの愛称で親しまれる春日井市交響楽団は、春日井市民第九演奏会における管弦楽の担当はもとより、交響詩「春日井の四季」の演奏など、まさにわが街のオーケストラとして着実に実績を積み重ねております。

今回の演奏会では、国内外で活躍中の春日井市出身のピアニスト原佳大さんをお招きしており、華麗な演奏を披露していただけるものと大変楽しみにしております。

音楽は、人の心に潤いとやすらぎを、そして感動と明日への活力を生み出すものであります。カポの演奏を通じて、より一層音楽を愛する人々の輪が広がり、さらに大きな音楽文化の花が開くことを期待して、ごあいさついたします。

## PROGRAM

ワーグナー作曲

Richard Wagner (1813-1883)

楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲

グリーグ作曲

Edvard Grieg (1843-1907)

ピアノ協奏曲 イ短調 作曲16

++ 《休憩》 ++

ブラームス作曲

Johannes Brahms (1883-1897)

交響曲第一番 ハ短調 作曲68

指揮 竹本泰蔵 (客演)

ピアノ独奏 原佳大 (客演)

※本日使用のピアノ(ベーゼンドルファー インベリアル)は日本ベーゼンドルファー社から提供を受けました。

## プロフィール

管弦楽

### 春日井市交響楽団

KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA



春日井市交響楽団 第3回定期演奏会 H6・7・17 春日井市民会館

平成2年11月、春日井市民によるアマチュアオーケストラとして設立。以来、創立記念演奏会（平成3年1月）・第1回定期演奏会（平成4年1月）・第2回定期演奏会（平成5年1月）など毎年自主演奏会を開催している。平成5年12月、春日井市制50周年記念「第九演奏会」（指揮：石丸 寛）には128名の特別編成の大オーケストラで参加した。平成6年7月、第3回定期演奏会（愛知県文化活動事業費補助金—広域的芸術文化事業—対象事業）では竹本泰蔵氏の指揮によりチャイコフスキー作曲交響曲第5番他を演奏し好評を得た。定期演奏会の他、市民第九演奏会での管弦楽担当、演奏旅行、音楽教室や市役所でのコンサートなど活発に演奏活動を行っている。

愛称『カポ』は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったものである。



音楽監督 都築正道(つづき まさみち)

名古屋市生まれ。名古屋大学文学部美学科卒。文博。指揮を横井園生氏に、作曲を熊谷賢一氏に、声楽を故山田昌弘氏に師事。朝日新聞音楽評担当。春日井市をはじめ、イタリアやフランスの国際コンクールの審査員を務める。現在、中部大学女子短期大学教授。春日井市交響楽団音楽監督。

トレーナー 西野 淳(にし の じゅん)

1965年生まれ。

愛知県立芸術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を寺井尚行、松井昭彦、兼田敏、岡坂慶紀の各氏に、指揮を秋山和慶、増井信貴、川本統修、河地良智の各氏に師事。主に吹奏楽の作・編曲者として活躍、最近では「'94わかしゃち国体」公式行進曲を作曲した。名古屋二期会オペラ公演・名古屋市民芸術祭オペラ公演に於いて竹本泰蔵氏の副指揮を務める。又アマチュアのオーケストラ、ブラスバンドのトレーナー、指揮者としても活躍中。

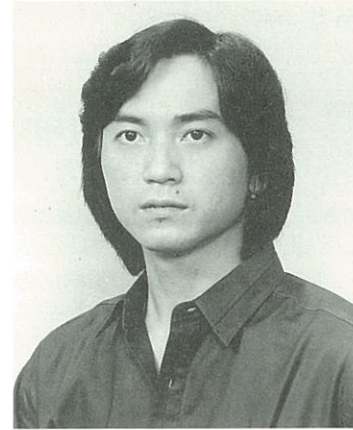
医療法人 三仁会

## 春日井整形外科病院

院長 花村浩克 (春日井市交響楽団々長)

春日井市東野町3丁目15-1 電話 <0568> 51-8987

※看護学生になりたい方、ご連絡下さい。



指揮 竹本泰蔵(たけもと たいぞう)

1956年神戸生まれ。

1974年、京都市立芸術大学音楽学部作曲科に入学し、翌年指揮科に転科。その間、広瀬量平、阿部幸明、保科洋、及び山田一雄の諸師に師事。

1976年、名古屋フィルにヴィオラ奏者として入団。

1977年、カラヤン・コンクール・イン・ジャパンでベルリンフィルを指揮、第2位に入賞。

1978年、日本ユースシンフォニーの指揮者としてロンドンでデビュー。

同年、カラヤンの招きによりベルリンフィルで2年間研修を行い、親しい指導をうける。

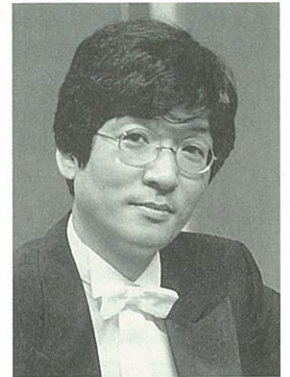
1981年の名古屋フィルアシスタントコンダクター就任を経て、現在コンサート、オペラ、バレエ、ミュージカルの公演指揮の他、編曲、ラジオ番組でパーソナリティーを務める等多多方面に活躍中。

ピアノ独奏 原 佳大(はら よしゆき)

1954年春日井市生まれ。中部中学校、東京芸大付属高校を経て、東京芸大ピアノ科を卒業。1984年よりオーストリア/ウィーンに留学。1986年、ウィーン国立音楽大学演奏学科ピアノ専攻を最優秀首席にて修了。帰国後も毎年、ウィーン、ザルツブルグを訪れ、研鑽を積む。

小津恒子、藤井博子、田村宏、水谷達夫、ハンス＝グラーン、ハンス＝カン、レオニード＝ブルンベルクの諸氏に師事。

1994年5月、スロバキア共和国のブラチスラバにてリサイタルの後、ウィーン芸術週間に招待され、日奥修好125周年記念演奏会で、ウィーン/コンチェルトハウスにて、モーツァルトとシューベルトの作品のリサイタルを行うなど、内外でリサイタル、ピアノ協奏曲の協演、室内楽と、精力的に活躍中。



楽器技術の [ピアノ調律技術  
管楽器リペア技術]  
エキスパートを養成!!

ピアノ調律技術コース  
管楽器リペア技術コース

コンサート 楽器技術者  
喝采の陰に役者あり

◆音づくり10年の名門校/楽器技術のスペシャリスト養成◆ (愛知県専修学校認可)

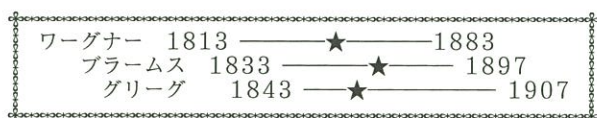
中部楽器技術専門学校  
CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS

〒466 名古屋市昭和区阿由知通三丁目13-6 TEL. <052>741-6788(代) FAX. <052>741-6789

# 音楽界・三人三様

春日井市交響楽団音楽監督  
都 築 正 道

さて、第4回春日井市交響楽団の定期演奏会は、ワーグナーとグリーグとブラームスといった人気作曲家の名曲シリーズとなりました。この三人は各々10年単位の間隔で生まれ、各々の世代を代表する作曲家として、19世紀の最中(さなか)に華々しく活躍しました。ワーグナーは楽劇の創始者として、ブラームスはロマン派の絶対音楽の代表者として、グリーグは北欧国民楽派の魂として…。本日はこの三人の音楽的特質が最も良く現れている作品ばかりを、竹本泰蔵さんの素晴らしい指揮と原佳大さんの魅力的なピアノのご協力をえながら、カポの良き特質が最も良く現れるように演奏したいと思います。



## — 《ニュルンベルクのマイスタージンガー》前奏曲 —

リヒャルト・ワーグナー (1813-1883) 作曲

1857年、ワーグナーが44歳の時の喜劇作品で、その翌年にミュンヘンで初演されました。中世のニュルンベルクの街を舞台にした、若き騎士ヴァルターと金細工師の娘エファとの恋物語。それに、老いた靴屋のハンス・ザックスと俗物書記官ベックメッサーが絡みます。《トリスタンとイゾルデ》(1859年完成)が愛欲の世界を官能的に描いたのに比べて、この喜劇は、明快なハ長調で、若者たちの純粋な愛と民衆芸術の偉大さを歌います。この前奏曲の特質は、「示導動機を駆使したワーグナーの管弦楽法」にあります。「示導動機」とは、音楽によって「音楽以外のなにか」を現わすものです。すなわち、[譜例1]が鳴ると「マイスター・ジンガー」を現わし、[譜例2]が鳴ると「マイスターの行進」を現わし、[譜例3]が鳴ると「ヴァルターとエファの愛」を現わす…といったようになります。ワーグナーは、これらの動機を巧みに組み合わせ、長い物語を、まるで言葉で語るように音楽で語って見せるのです。本日お聴きいただく前奏曲は、全曲中の何十とある示導動機の中から代表的なものを用いて、この楽劇の面白さを短く象徴的に伝えています。

ワーグナー自身がこの前奏曲につけた解説を要約すると次のようです——「マイスター・ジンガーたちがお祝いの衣装に着飾ってニュルンベルクの街を堂々と行進する。その中にハンス・ザックスを見つけると、人々は彼の作った歌を一齐に歌い出す。しかし、民衆の中から愛のため息も聞こえてくる。歌合戦の勝利者に捧げられるマイスターの美しい娘の不安な気持ちがそこから伝わってくる。彼女は、群衆の中に恋する人の姿を認める。彼は詩人だが、まだ、マイスターではないので彼女を結婚の相手として得ることは出来ない。みんなはこの二人の恋人の間に分け入って、からかいながら恋の邪魔をする。ハンスは、若者を捕まえて行進の先頭におくと、愛の歌の動機がマイスターの動機に向かって鳴り響く。周囲には、『ハンス・ザックス、万歳!』の声が力強く響きわたる…」

[譜例1]

Sehr mässig bewegt



[譜例2]



[譜例3]



## — 《ピアノ協奏曲》イ短調 —

エドヴァルト・グリーグ (1843-1907) 作曲

グリーグ25歳の1868年に完成され、翌年、コペンハーゲンで初演されました。ノルウェーを代表する作曲家グリーグのただ一つのピアノ協奏曲であり、「北欧のショパン」と呼ばれた彼の代表作です。この作品の特性は、「北欧の美しさと寂しさ」です。ドイツのライプツィヒ音楽院で学んだグリーグは、北欧の文化の中心地デンマークのコペンハーゲンで最初の音楽活動を始めます。若きグリーグは、妻のニーナと長女のアレクサンドラに最高の愛と幸せを感じながらこの曲を書きました。ここには、ドビュッシーがいう「雪で包まれた砂糖菓子」の甘さと楽しさもあります。第1楽章は、印象的なティンパニの強打に導かれてピアノがイ短調の和音と共に登場します。第2楽章と第3楽章はつづけて演奏されますが、装飾音符の多いピアノの華やかさや冷気を震わすフルートの響きなど、グリーグならではの繊細な感性に満ちあふれています。

第1楽章 (極めて適当に快適に) イ短調・4/4拍子・ソナタ形式

第2楽章 (ゆっくりと) 変二長調・3/8拍子・複合3部形式

第3楽章 (適当に快速に・歯切れ良く) イ短調・2/4拍子・ロンド・ソナタ形式

## — 《交響曲第1番》イ短調 —

ヨハネス・ブラームス (1833-1897) 作曲

ブラームスは、43歳の1876年に、やっと《交響曲第1番》を完成し初演することができました。第1楽章が書き始められたのが1855年(22歳)といわれていますから、20年以上にわたって推敲を重ねてきたこととなります。あらゆるパッセージをなんども書きなおし、それでもまだ完全には満足せず、「私はこれを結局仕上げることは出来ぬかもしれぬ」と絶望的になったこともあったようです。「絶えずベートーヴェンのような巨人が後からノッシノッシとあるいてくるのが聞こえる、その気持ちがどんなものか、君には見当も付かないだろう」とブラームスは友人にその苦心のさまを語っています。

でもわたしは、彼がこのとき最も気にかけていたのは、ベートーヴェンではなく、ワーグナーだったと思います。なぜなら、この曲が初演された1876年といえば、ワーグナーが楽劇を上演するためのパイロイト音楽祭が始まった時であり、「新ドイツ楽派の音楽しか音楽ではない」と主張するワーグナーとリスト派がもっとも意気盛んな時だったからです。ブラームスはあえて、オペラや交響詩を中心とする「テアター的」な新ドイツ楽派の考え方に異議を唱え、交響曲や協奏曲の「絶対音楽的」な立場を主張するのです。彼は、音楽には先ず何よりも精神的なものがなくてはならぬ、とするのです。あのベートーヴェンの作品のようになります。新ドイツ派に対する砦として祭り上げられたブラームスが、絶対音楽である最初の交響曲の完成にいかにも腐心したかが痛いぐらいに良く分りますし、交響曲の作曲ということが、ベートーヴェン以後、どんなに大変なことであったかも良く分ります。

構成は、ベートーヴェンの『運命』に近いものです。例えば、主調はハ短調ですし、全曲を統一する動機の使用や「暗黒(短調)から光明(長調)へ」向かう構成などがそれです。むしろ、彼独自の個性的な様式も生み出していることは当然で、それは、各楽章が「ハ短調-ホ長調-変イ長調-ハ長調」と長3度づつ上昇していく独特の調性構造を取っていること、多様な変奏を大胆に行なっていく、それを深い情感で統一しようとする緊張感が全曲にみなぎって

医療法人 光明会

**平 田 眼 科**

春日井市瑞穂通6-22-3 ☎ (0568) 84-6638

看護婦さん(正・准)常勤・パート募集中

(千種又は栄分院勤務も可)